

The image shows the Japanese word "東京" (Tōkyō) written in large, expressive black calligraphic characters. A thick green brushstroke underline runs diagonally across the characters from the top-left to the bottom-right.

IMS FUJIMI GENERAL HOSPITAL INFORMATION



IMS FUJIMI GENERAL HOSPITAL

交通のご案内

■ 電車をご利用の方

- ・東武東上線「鶴瀬駅」東口下車
 - ・無料送迎バスあり
 - ・市内循環バス ふれあい号
「中央図書館」下車約2分

■ タクシーをご利用の方

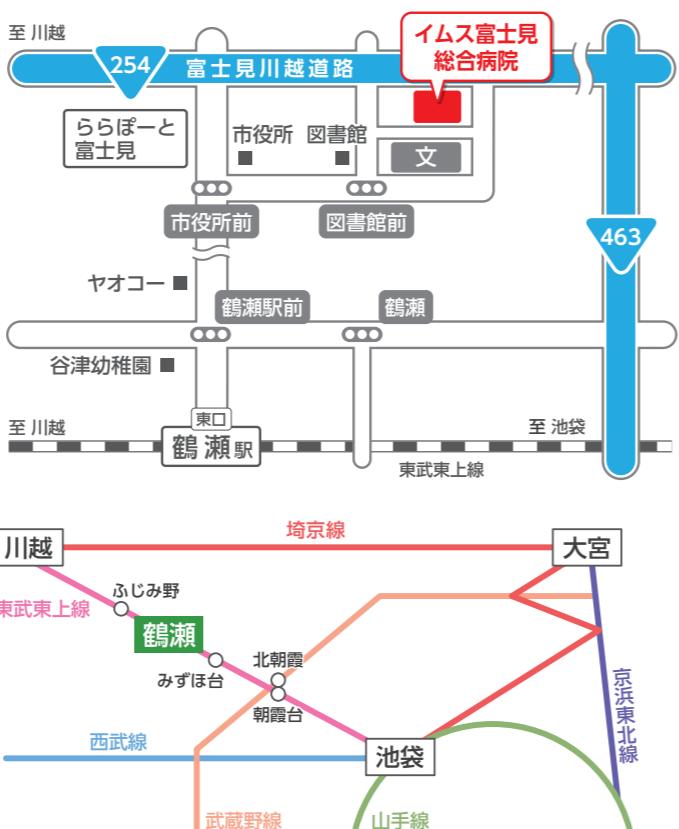
- ・東武東上線「鶴瀬駅」より約5分
 - ・東武東上線「みずほ台駅」より約10分

■ お車をご利用の方

- ・富士見・川越道路「鶴馬」交差点より約1分
 - ・関越自動車道「三芳IC」より約20分

■ 主要駅から「鶴瀬駅」までの所要時間

- ・東武東上線「川越駅」より約9分
 - ・東武東上線「池袋駅」より約30分



IMS グループ 医療法人財団 明理会

イムス富士見総合病院

〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬1967-1
TEL.049-251-3060(代表) <http://www.ims.gr.jp/fujimisougou/>



病院長ご挨拶

愛し愛される病院を目指して

「イムス富士見」があつてよかつたと言つていただけるよう努力して参ります。
小児から高齢者まで
高度急性期、急性期から回復期、地域包括ケア、在宅支援まで、つながる、めぐる。
総合病院としての機能をタイムリーにご利用いただけるよう整備して参ります。

平成28年4月に新棟が完成、120床増床し341床の病院となりました。

そこで、小児病棟(45床)を新棟6階にリニューアル、
集中治療室・専門治療室を整備しより充実した診療の提供、手術室・
透析室・カテーテル治療室の拡張、回復期リハビリテーション病棟と
地域包括ケア病棟の開設を盛り込むことができました。

地域との連携の強化として、地域医療連携室、医療福祉相談室、
退院支援看護師室の3つの部署を既存棟1階に集約しました。
場所がわかりやすいよう、当院のカラーである緑をイメージした受付、
グリーンカウンターを設置しました。かかりつけ医療機関からの
紹介を受け付けることはもちろん、当院の入院診療・外来診療についての
問い合わせ、医療・介護の制度上の相談や在宅療養中の生活課題の
相談までワンストップで対応できるような部署にしたいと考えております。
そして、患者さま・ご家族の方のご利用はもとより、地域で在宅療養に
携わっておられるスタッフの方々にも利用していただける部署を目指しています。
新しい病院の機能を発揮しつつ、地域包括ケアシステムの構築に
貢献できるよう活動を続けて参ります。



病院長 鈴木 義隆

病院概要

施設概要

所在地	埼玉県富士見市鶴馬1967-1
敷地面積	13,473.30m ²
建築面積	約4,169.13m ²
延床面積	約18,325.30m ²
階数	A館 8階 / B館 6階
病床数	341床
外来機能	内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・ 腎臓内科・神経内科・人工透析内科・外科・ 心臓血管外科・消化器外科・小児外科・ 肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・ 内視鏡外科・小児科・皮膚科・泌尿器科・ 婦人科・耳鼻咽喉科・放射線科・ 麻酔科・血管外科・リハビリテーション科
指定	救急指定／労災指定／生保指定

沿革

平成29年12月1日現在	
昭和46年 1月	鶴瀬病院開設
昭和52年 4月	医療法人財団明理会組入
平成21年 3月	イムス富士見総合病院に 名称変更し新設移転
平成21年 7月	診断群分類包括評価制度(DPC)導入
平成22年 8月	療養病棟を廃止し一般病棟へ変更
平成23年 5月	障害者病棟を廃止し一般病棟へ変更 一般病棟入院基本料 7:1 (221床)
平成25年 1月	小児入院医療管理料算定開始
平成25年 8月	ハイケアユニット運用開始
平成27年 8月	搬送困難事業受入医療機関 支援事業指定病院
平成28年 4月	120床増床し、許可病床数341床に変更 ICU、回復期リハ病棟、 地域包括ケア病棟運用開始
平成28年 6月	病院機能評価一般病院2 機能種別版評価項目3rd G:Ver.1.1認定
平成29年 10月	

病院理念

安全で適切な医療を提供し、
愛し愛される病院として社会に貢献する。

基本方針

- 急性期病院として1人でも多くの患者さまのニーズに応えるために全力を尽くす。
- 他の組織や施設と密接に連携してシームレスな医療を構築し、地域のニーズに応える。
- 医療提供に必要なスキルや接遇マナーとコミュニケーション能力を備えた職員を尊重し、かつ育成する。

患者さまの権利

- 安全で適切な医療を平等に受ける権利があります。
- 医療機関や医師を選択し、また他の医師に意見を求める権利があります。
- 診療について十分な説明を受け、治療などを選ぶ権利があります。
- 個人情報及びプライバシーを保護される権利があります。

患者さまへのお願い

- 患者さまの健康についての情報はできる限り正確にお伝えください。
- ご自身が希望することまたは希望しないことをお伝えください。
- 分からないことは納得できるまでお聞きください。
- 治療中に異常を感じたらすぐにお伝えください。
- 適切な診療をお受けいただきかつ快適な療養環境をつくるために、
病院の決まりを守ることにご協力ください。
- 教育・研修施設として学生の臨床実習にご理解ご協力を願いいたします。



各フロアのご案内

B館

6F 小児科病棟 45床
5F 脳神経外科、血管外科病棟 37床 SCU(脳卒中専門治療室) 4床
4F 回復期リハビリテーション病棟 40床
3F 循環器内科、心臓血管外科病棟 35床 CCU(循環器専門治療室) 5床
2F ICU(集中治療室) 6床、家族待合室 HCU(高度治療室) 6床、面接室
1F 外来、内視鏡室、血管撮影室、売店

A館

8F 入退院受付 薬剤部(休日夜間お薬窓口)、管理部門
7F 地域包括ケア病棟 42床
6F 内科病棟 43床
5F 外科、泌尿器科、婦人科病棟 39床
4F 整形外科 39床
3F 管理部門
2F 手術室、透析室
1F 総合受付、外来、救急外来、外来科学療法室、放射線科、 検査室、リハビリ室、診療情報管理室、地域包括診療部門 (地域医療連携室、医療福祉相談室、退院支援看護師室)

循環の富士見

循環器内科



副院長
久保井 光悦



循環器内科部長
坂元 敦



24時間365日体制【カテーテル検査・治療】

循環器内科は主に心臓および血管の病気の診断と治療を行う診療科です。代表的な病気として虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、様々な不整脈、種々の原因による心不全、心臓弁膜症、大動脈疾患、末梢動脈疾患(閉塞性動脈硬化症)などがあります。当院では特にカテーテル治療に力を注いでおります。狭心症や心筋梗塞、末梢動脈疾患に対する適切なカテーテル治療、脈が速くなる頻拍性不整脈(発作性上室性頻拍、心房粗動、発作性心房細動)に対するカテーテルアブレーション(心筋焼灼術)や脈が遅くなる除脈性不整脈に対してペースメーカー植え込み手術。致死性不整脈である心室頻拍や心室細動の患者さまに対し、突然死を予防するために植え込み型除細動器(ICD)の植え込み術、重症心不全患者さまに対する両心室同期型ペースメーカー植え込み術などを行っております。また、循環器疾患は急性心筋梗塞をはじめとして命にかかる救急疾患も多く、適切な初期治療を行うために、心臓血管外科と協力し24時間、365日体制で診療を行っております。今後も地域住民に対し、より高度で安全な医療を提供するとともに、周辺の病院や診療所と連携を密にし、急性期病院としての使命を果たしていきたいと考えています。

血管外科



血管外科医長
東原 宣之



救肢・フトケア

血管外科を平成25年4月より新設し、低侵襲であるラジオ波による下肢静脈瘤治療をはじめ、大動脈瘤ステントグラフト治療、足に潰瘍・壊死を生じる重症虚血肢に対するバイパス手術、救肢やフトケアなどの血管治療を行っております。また、透析患者さまに必要なアクセス関連ではシャント造設・PTAを行っています。当科では手術治療だけでなく、患者さまに合った治療法と一緒に考えて参ります。

高度な技術と最新医療機器で専門性の高い治療を提供し、血管に関するあらゆる疾患に対応していきます。

脳神経外科



脳神経外科部長
鷲内 隆雄



一日でも早い社会復帰をサポート 【脳神経外科の低侵襲的手術】

脳神経外科では『身近な総合病院で、低侵襲かつ最新の脳神経外科手術を、いつでも安心して受けられる』を目標に診療を行っています。最新鋭の医療機器を完備し、脳神経外科の3大疾患である脳卒中(クモ膜下出血、脳動脈瘤、脳梗塞など)、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患、脳血管狭窄、頸動脈狭窄に対し、顕微鏡手術、神経内視鏡手術や脳血管内治療を使い分けて最先端の医療を提供しています。すぐに社会復帰していただけるよう、手術は無剃毛で行います。

心臓血管外科



心臓血管外科部長
曾川 正和



地域から救急患者さまを広く受け入れ

心臓血管外科では地域完結型の医療を目指して、近隣で発生した緊急手術症例への対応に力を入れています。手術は、狭心症に対する冠動脈バイパス術、弁膜症に対する弁形成術や弁置換術、大動脈瘤に対する人工血管置換術・ステントグラフトを用いた低侵襲手術などを行い、質の高い医療を提供しています。それぞれの患者さまに適切な治療法を丁寧に検討して、患者さまおよびご家族には安心して手術を受けていただけるよう、わかりやすい説明を心掛けております。

腎臓内科



腎臓内科部長
田山 陽資



様々な合併症にも適切に対応

慢性腎臓病(CKD)は、生活習慣(高血圧、糖尿病など)に深く関連し、現在1330万人(成人の8人に1人)が罹患していると言われ、CKDが進行すれば透析療法が必要となります。当院では、透析を回避するためにCKDの早期(尿蛋白)から一貫した治療が可能であり(大学病院とも連携)、また透析が必要となった際も、急性期病院での利点を活かし、合併症を含めた全身精査・治療(CT・MRI・内視鏡検査・心臓カテーテル検査など)が可能です。腎臓病は慢性疾患ですので、責任を持ってお付き合いさせていただきます。

小児の富士見

24時間365日、救急および慢性疾患への対応が可能。
地域の小さな命を守ります。



小児病棟の特徴

小児科病棟では、子供たちが遊べるプレイルームを設置し、また季節の装飾や動物のイラストなどを配置することで、お子さまとご家族にとって入院生活が少しでも明るく過ごせるような工夫がされています。

また、安全性を第一に考えセキュリティを強化し、病棟の入り口はオートロック扉になっています。

副院長 清水 久志

当院は2012年9月に二次救急医療を開始し、2016年4月には新しい小児病棟を開設しました。信頼される医療を目指し、病診連携、救急医療を充実させて地域の医療に貢献したいと考えています。

小児科部長 米沢 龍太

小児の一般疾患に対し、入院を含めた幅広い医療を提供しています。入院病床は45床あり、保護者の方の付き添いが難しい場合、お預かり入院にも対応しています。医師、看護師に加え、病棟専属の保育士が児童の入院生活をサポートします。外来では、一般疾患のほか、各種専門外来（循環器、腎臓、神経）で専門性の高い疾患の診療も行っています。夜間、休日は、救急外来で対応いたします。お子さまのことで、何かあればご相談ください。

お預かり部屋（12床室）



こちらのお部屋は、全体が見渡せる構造になっていて、付き添いができるご家族のために24時間お預かり入院にも対応しています。

小児科外来の診察室を増設



平成28年に小児科外来を4室に増室しました。また神経、循環器、腎臓の専門外来も始まり、いっそうの体制充実を目指しています。

24時間365日保育士常駐



病棟内には、保育士が交代で24時間常駐。お子さまの不安な気持ちや寂しさを紛らわせることで、精神的ストレスを緩和する役割を果たしています。

総合医療への取り組み

地域に根差した総合病院として、各診療科のシームレスな連携で、適切な医療を提供します。



整形外科

手術に頼らず、症状の軽減を図る

整形外科では、主に骨と関節に関連した運動器疾患や脊椎の疾患を扱っています。具体的には、骨折、変形性関節症、靭帯損傷、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなどです。骨折以外は、なるべく保存的治療法を試み、手術は最終手段と考えています。また、リハビリテーション科と協力し、術後の患者さまはもちろん、外来患者さまの日常生活の質の向上にも努めています。

外科

専門病院レベルの治療を提供

消化器疾患を中心に外科全般の領域について専門病院レベルの診療をご提供しています。手術では腹腔鏡手術を積極的に導入。また、一般的な乳腺検査・手術のほか、内視鏡処置ではEMR・ERCPを多く採り入れています。外来には通院化学療法室を設け、安楽な環境で化学療法が可能になりました。地域の二次救急医療機関として夜間・休日の救急対応も行っています。

泌尿器科

重篤な疾患に対応、高度な手術も

泌尿器科では、泌尿器疾患全般を扱っておりますが、その中でも前立腺疾患、膀胱疾患に加え、尿路結石や尿路感染症の患者さまを中心に診療を行っています。手術に関しては、経尿道的前立腺切除や骨盤臓器脱メッシュ手術（TVM）に力を入れています。

内科

総合内科として地域の中核を担う

内科では総合内科として内科疾患全般に渡り診療を行っております。外来診療においては膠原病、神経内科、呼吸器内科の専門医の診療も行っております。地域の中核病院として、また、二次救急医療機関として夜間・休日の救急患者さまの対応もしています。さまざまな病床機能を持つ総合病院の内科として各部署と協力し、患者さまにあった医療を提供します。

総合診療科

専門診療科と連携し、多角的に診察

総合診療科では、様々な症状に対して、多角的に診療を行い、迅速に診断をつけます。専門診療科と協力し、適切な紹介を行います。どの診療科に受診すればいいかわからない場合や複数の疾患を持ち、どの診療科を中心に受診すればいいかお困りの時に、地域の患者さまにとって、身近で頼られる存在となるよう、努力して参ります。

迅速の富士見

救急・紹介患者さまはもちろん、
在宅からのお受け入れにも迅速に対応します。

救急・重症医療への取り組み



ER

地域の中核病院として、主に重症・救急患者さまの受け入れを行っており、ER外来にて初療後、適切な診療科で継続治療を行います。「搬送困難事案受入医療機関支援事業」、「小児救急医療支援事業」の指定病院として、小さなお子さまからお年寄りまで、昼夜問わず、受入体制を整えています。また、近隣救急隊と連携して、ドクターヘリ症例の受け入れ実績もございます。

患者さまが安全で適切な治療、看護を受けていたくため、広い空間を確保し、様々な症例に対応できる設備となっています。

ケアユニットの紹介



ICU (集中治療室)

内科系・外科系を問わず、呼吸・循環・代謝そのほかの重篤な急性機能不全の患者さまの受け入れを行います。24時間、強力かつ集中的に治療・看護を行う病棟です。早期より、多くの職種が関わり、患者さまご家族さまが安心できるよう努めています。

CCU (循環器専門治療室)

重症な循環器疾患を持つ患者さまの受け入れを行う病棟です。急性心筋梗塞など、緊急を要する事態に24時間対応できる体制をとっています。厳重な監視モニター下で持続的な管理を行い、集中的な治療を行います。患者さまやご家族さまには、緊張を和らげる援助を心掛けています。

SCU (脳卒中専門治療室)

SCUでは、脳血管障害(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など)の患者さまを主に受け入れます。脳卒中の専門知識を持つ経験豊富な医師、看護師らにより、24時間体制で集中的に治療を行います。

HCU (高度治療室)

HCUでは、緊急透析や人工呼吸器などの専門的治療のスペースを確保し、重症患者さまに手厚く看護が出来ます。救急外来からの高度治療を継続しながら、患者さまに常に寄り添った看護をし、ご家族さまにも安心していただけるように努めています。



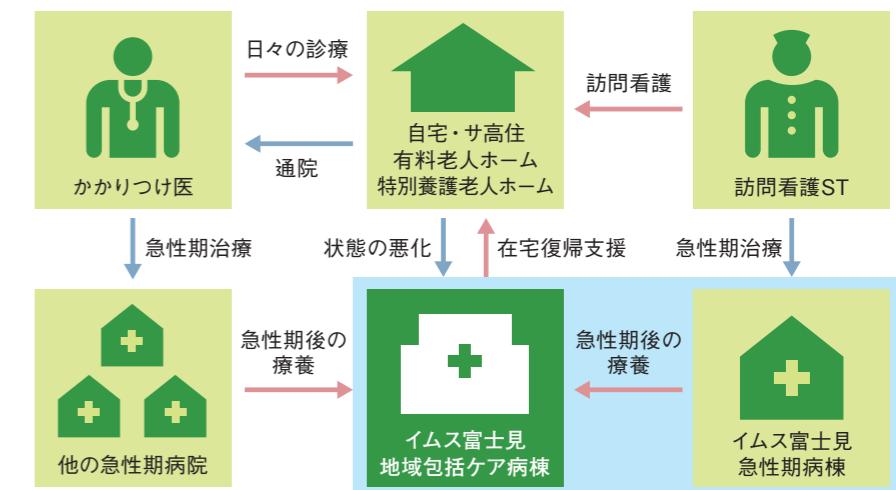
回復期リハビリテーション病棟



日常生活動作の訓練を中心としたリハビリテーションを行う病棟です。地域のニーズに応える為、平成29年12月に40床へ増床しております。病棟では、より早く在宅を意識してもらえるよう、明るく開放的な環境に、畳やちゃぶ台、キッチン等を用意し、日常空間に合わせたリハビリが行えます。また、若く活気のあるスタッフが担当し、皆さんに元気をお届け出来るよう努めています。

地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟では急性期の手術や治療を経過し、症状が安定した患者さまに対し、在宅への復帰に向けた医療や支援を専門的に行います。また、在宅で生活されている方が緊急的に一時利用して頂くことも可能です。一般的な血液検査やレントゲン検査、投薬治療は可能ですが、高額な医薬品の投与や特殊な検査はできません。在宅復帰に向けて医師・看護師・リハビリテーション技師、社会福祉士などにより支援を行っていきます。



●どのような場合に入院になるのか

- 在宅復帰に向けての病棟ですので、退院先を療養病院や介護老人保健施設をご検討されている場合はご希望に添えない可能性があります。
- ・急性期治療を行った後、状態は改善したが、在宅復帰に向け、もう少し経過観察が必要な場合
 - ・急性期治療を行った後、状態は改善したが、在宅復帰に向け、リハビリテーションが必要な場合
 - ・在宅で療養中に体調不良になり、再度、在宅療養が行えるよう、てこ入れが必要な場合
 - ・レスパイト目的の入院(在宅で介護をされているご家族の方の一時休憩目的)

※入院期間は最大60日まで



地域包括診療部(グリーンカウンター)の取り組み

地域包括診療部とは、【地域医療連携室・医療福祉相談室・退院支援看護師室】を集約した部署です。「かかりつけ医療機関からの紹介受付」、「近隣医療機関の案内」、「在宅復帰支援」、「医療・介護の制度上の相談や在宅療養についての相談」に対し、ワンストップで対応するグリーンカウンターを開設しています。患者さまはもちろん、在宅療養に関わるスタッフの方々、医療関係者の方々もどうぞお気軽にご利用ください。

チーム 医療



多職種のスタッフがチームを組み、 専門能力を活かして治療にあたります

当院は、地域の中核となる総合病院として、地域の医療機関と連携し、質の高い医療の提供に努めています。医師や看護師をはじめ、多職種のスタッフが連携するチーム医療を基本とし、それぞれの専門知識や技術を活かし、患者さまの治療や医療環境の整備にも取り組んでいます。



感染対策

様々な感染症から患者さまやご家族、職員を守るために予防対策を実践
感染対策チームは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務からなるメンバーで構成されています。職員への教育、院内巡回、感染対策マニュアルの作成、コンサルテーションなどの活動を行い、感染症の拡大防止、抗菌薬の適正使用を推進しています。

栄養サポートチーム(NST)

患者さまに合わせた食事や点滴など、栄養面から治療を支援
医師をはじめ、管理栄養士・薬剤師・看護師・言語聴覚士・臨床検査技師などが連携し、患者さまの栄養状態を把握し、それぞれに最適かつ最善の栄養計画を提案することで、患者さまの早期回復・退院・社会復帰を図ります。

認知症サポートケア

高齢社会となり、認知症患者さまの数は増加しています。当院では、認知症と診断されている患者さまだけでなく、加齢による認知機能の低下を考慮した予防的なケアを実践するための看護師が各病棟に配置されています。

医療安全対策

患者さまの安全を守り、安心で最適な医療環境を整える
各医療従事者の個人レベルでの事故防止対策、患者さまが安全に良質な医療が受けられる環境づくりを目的とし、情報収集・マニュアル作成・研修参加などを行っています。また、患者さまからのご相談にもお応えしています。

専門領域をもつ看護師

日本看護協会の認定看護師や3学会合同呼吸療法認定士、BLSやACLS修了者など、専門資格や専門領域の教育を修了した看護師が多数働いています。今後は、特定行為研修を開始する予定です。

【皮膚・排泄ケア認定看護師】

不安や悩みを抱えるストーマ保有者さまに対する継続的な支援を行い、ストーマの局所管理と心のケアを行うため「ストーマ外来」を担当しています。

【感染管理認定看護師】

患者さまとご家族、医療従事者など、病院に関わる全ての人を感染症から守り、安心して入院できる、あるいは安心して勤務できる環境を提供するために活動しています。

【集中ケア認定看護師】

集中治療領域における最新の知見とガイドラインをもとに、重症患者さまが早期に回復するためのケアを実践しています。一般看護師への指導や相談により、質の高いケアを提供しています。

【緩和ケア認定看護師】

苦痛を緩和し、自分らしく過ごせるための方法を見つけ出すために、患者さまとご家族の意向を尊重し医療と生活をつなぐための相談に対応しています。

【退院支援看護師】

入院時より、退院に向け必要な医療・社会サービスをコーディネートするために、ソーシャルワーカーや病棟看護師と協働しています。

各部署のご案内

チーム医療、地域医療において重要な役割を担う各部署をご紹介します

看護部

人びとの生き方や意向を尊重した看護を提供

医療従事者のなかで患者さまの一番身近にいる看護師は、誰よりも患者さまの生活や考え方を理解できる存在です。すべての健康レベルの人びとに対し、その人らしく生活するための看護を実践し、信頼と安心のなかで過ごしていただきます。



薬剤部

医薬品の責任者として、患者さまの安全な薬物療法を支援します

外来化学療法室や全病棟に薬剤師を配置し、患者さまの適正な薬物療法のために医師・看護師達と共に1日でも早い退院に向け、取り組んでいます。



放射線科

高度医療機器による検査により明瞭な診断・治療を可能に

MRI・CT・マンモグラフィーなどの検査に加え、心臓・脳・腹部血管カテーテル検査装置が2台あり、冠動脈疾患や脳虚血疾患など検査・治療が可能になっています。各種ドック検査に対応し、骨密度測定・胃・大腸の検査も行っています。



検査科

24時間365日、診断や治療に欠かせない情報を提供

血液・尿などの検体検査や心電図・超音波などの生理学検査を通して、診断や治療に必要な体内情報を臨床へ提供しています。「迅速かつ正確に」を心がけ、チームワークで患者さまの健康をサポートします。



リハビリテーション科

より健康的な日常生活への復帰を目指し、手厚い支援をご提供

入院早期からの手厚いリハビリテーションを心掛け、急性期・回復期、そして小児と幅広く対応しております。これからも他部署や地域との連携を密に図りながら、より質の高い治療と支援の提供を目指し、地域の皆さんに貢献していきます。



地域医療連携室

地域全体に質の高い医療サービスが行えるよう、トータルな視点で貢献

患者さまにとってより良い医療の提供を目的に、他医療機関との連携を円滑に行うパイプ役を担います。「迅速・正確・丁寧」をモットーに質の高い急性期医療や専門医療の提供を通じて、地域に貢献いたします。



医療福祉相談室

地域・ご家族の様々な生活課題に対し、社会福祉士の専門的視点でご対応
社会福祉の立場から、患者さま、ご家族、地域の方々の、疾病によって生じる様々な生活課題の解決のお手伝いをさせていただいております。「暮らし」と「きもち」に寄り添う社会福祉の専門家である、社会福祉士がお話を伺います。



臨床工学科

進化する医療技術の中で、医療機器の安全性の確保とチーム医療への貢献

医療機器の専門家として医療現場をサポートし、安全性の確保ならびに効率的な運用を行っています。また、人工心肺・血液浄化装置・人工呼吸器など、生命維持管理装置の操作を行い、チーム医療の一員を担います。



栄養科

健康と関わりが深い栄養についてわかりやすくご説明

医師の指示のもと患者さまやご家族の方々に栄養指導を行っています。個々の状況に合わせ、生活習慣や食生活のアドバイスを行っています。入院中の食事提供や栄養管理、NSTも活動を行っており、患者家族さまの栄養状態改善に努めています。



診療情報管理室

患者さまの大切な情報を慎重に取り扱い、さまざまな形で有効活用

個人情報保護方針に基づき、患者さまの診療録(カルテ)を大切に保管・管理しています。診療録は、患者さまの診療サポートをはじめ、医療スタッフの教育、また集計・分析した統計資料は医学研究などにも活用されています。



医事課

笑顔で患者さまの不安をやわらげ、親切ていねいにご対応

医事課では、主に受付・会計・入退院手続きを行っています。来院される患者さまと最初にお顔を合わせる部署であり、笑顔で親切ていねいに接することで、病気やケガによる不安を少しでもやわらげようと心掛けています。



IMS FUJIMI
GENERAL HOSPITAL